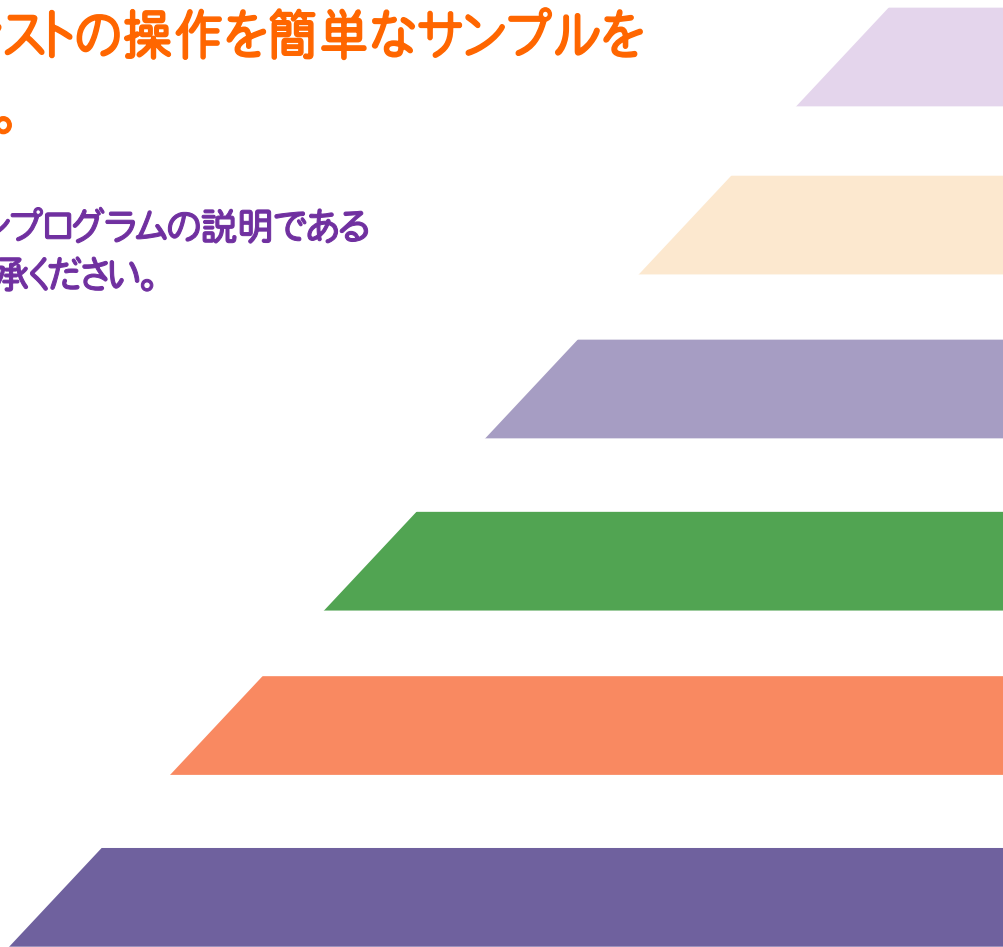


レイヤ振分けアシスト

レイヤ振分けアシストの操作を簡単なサンプルを用いて解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



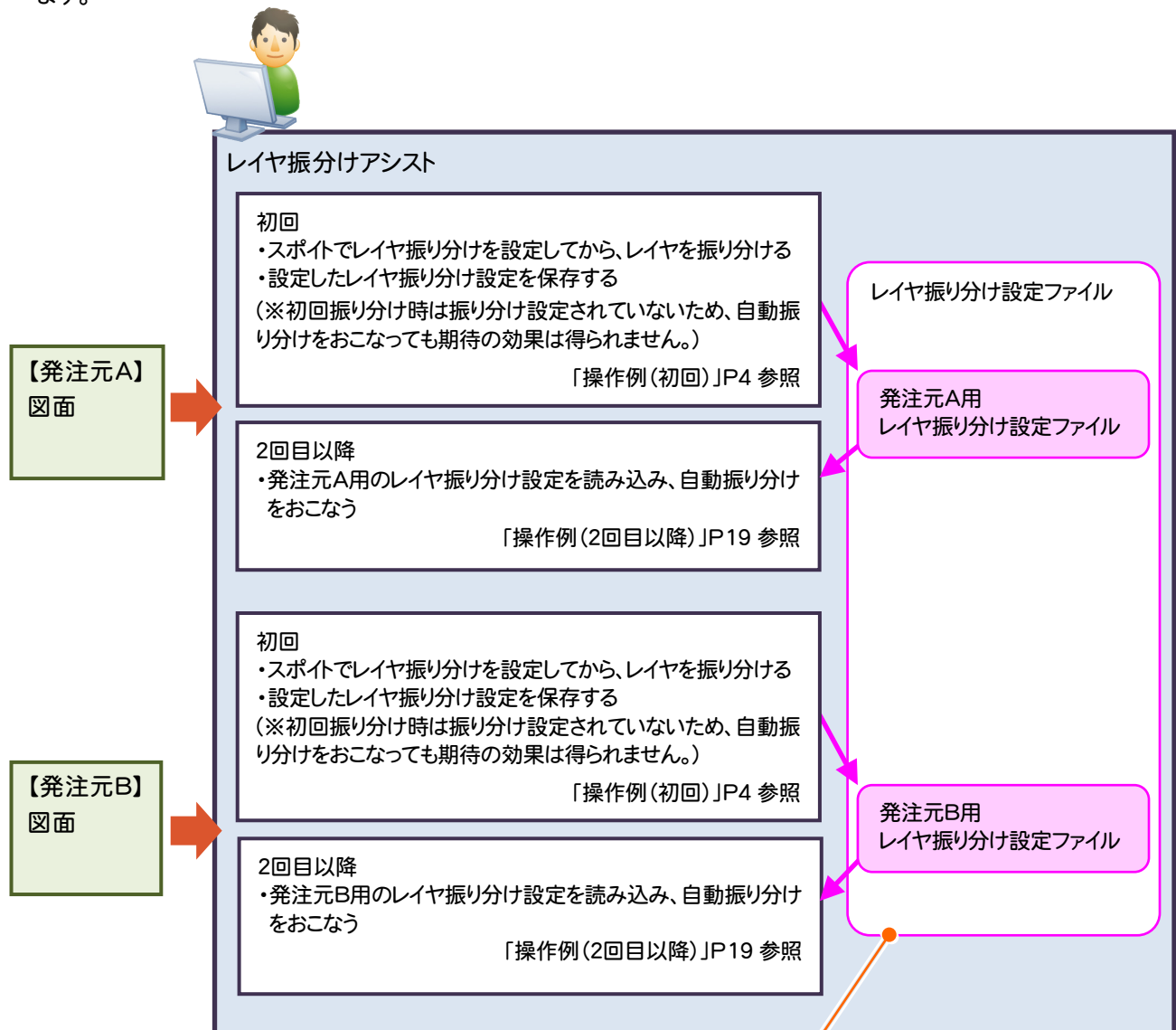
1. レイヤ振分けアシストとは	1
1-1 概要	1
1-2 ダイアログバーの解説	2
2. 操作例(初回)	4
2-1 レイヤ振分けアシストを実行する	5
2-2 「C主構造物外形線」の振分けを設定する	6
2-3 「C主構造物外形線」レイヤに振り分ける	8
2-4 「C構造物基準線」の振分けを設定する	9
2-5 「C構造物基準線」レイヤに振り分ける	10
2-6 「C現況地物(現況地盤線)」の振分けを設定する	11
2-7 「C現況地物(現況地盤線)」レイヤに振り分ける	12
2-8 「C文字列(主構造物)」の振分けを設定する	13
2-9 「C文字列(主構造物)」レイヤに振り分ける	14
2-10 「C寸法線、寸法値」の振分けを設定する	15
2-11 「C寸法線、寸法値」レイヤに振り分ける	16
2-12 振り分けられた状態を確認する	17
2-13 レイヤ振り分け設定を保存する	18
3. 操作例(2回目以降)	19
3-1 レイヤ振分けアシストを実行する	20
3-2 振り分け設定を確認する	21
3-3 自動振り分けをおこなう	22
3-4 間違って振り分けられたレイヤを解除する	23
3-5 要素に正しいレイヤを振り分ける	24

1 レイヤ振分けアシストとは

1-1 概要

[土木]—[レイヤ振分けアシスト]は、レイヤごとの表示状態を記憶し、CADデータを製図基準に沿ったレイヤに簡単に振り分けるコマンドです。

図面は発注元ごとに、それぞれの会社又は個人のルールに従って作図されている場合が多いため、発注元ごとにレイヤ振分け設定ファイルを保存して、発注元が前回と変わったら設定ファイルを切り替えていく運用をお勧めします。

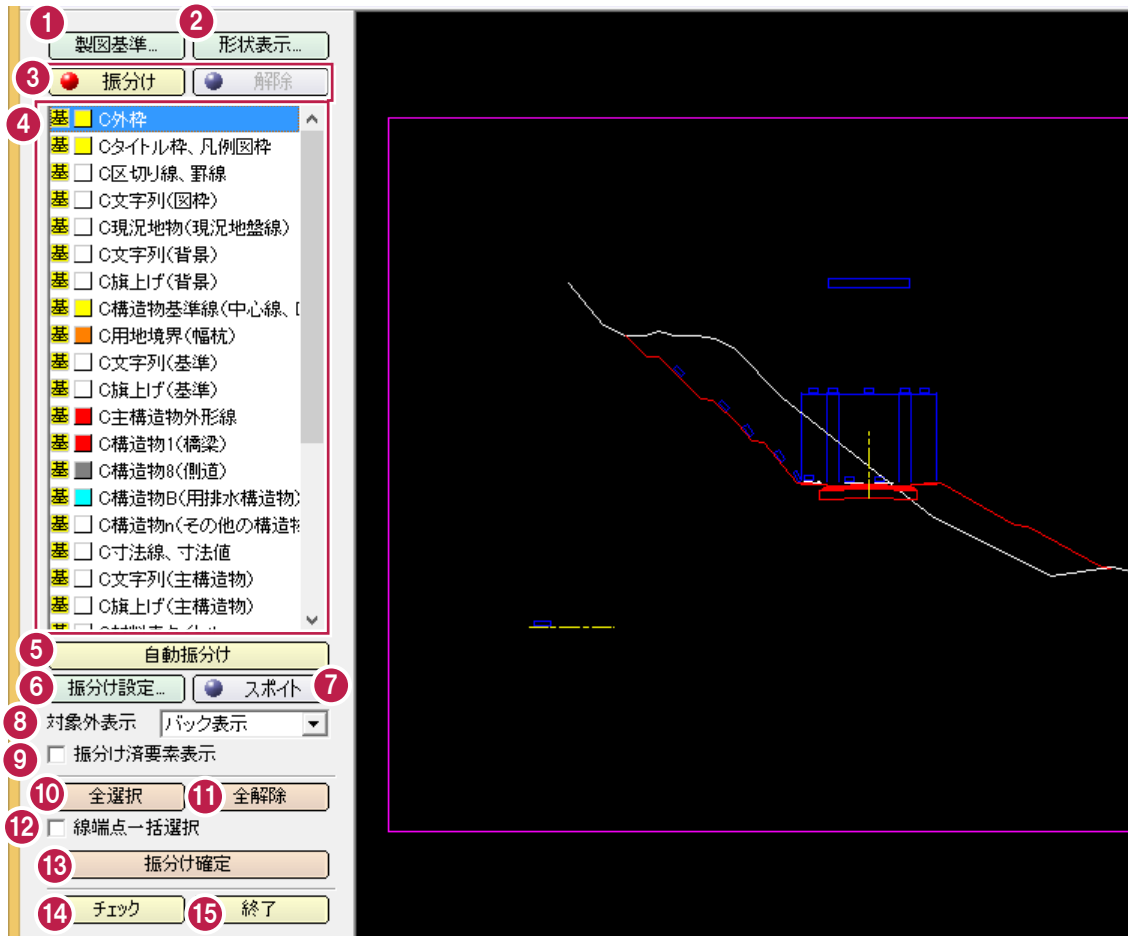


ワンポイント

- ・振分け設定さえきっちり設定すれば、自動振り分けの精度は図面によらず高くなります。
- ・新しい基準がでて、ユーザが振分け設定をカスタマイズできるので製図基準テンプレートを更新すればプログラムの対応を待つ必要がありません。

1-2 ダイアログバーの解説

[土木] - [レイヤ振分けアシスト] コマンドを実行すると、画面左側にダイアログバーが表示されます。ダイアログバーのボタンや機能について解説します。



ダイアログバーの機能解説	
① [製図基準]ボタン	[製図基準テンプレート]ダイアログでCAD 製図基準テンプレートを選択します。
② [形状表示]ボタン	[形状表示]ダイアログで各属性に設定されている要素を確認します。
③ [振分け]ボタン/[解除]ボタン	振分けモードと解除モードを切り替えます。 【振分けモード】 : 指定したレイヤに対して、検索対象となる要素のみが選択可能になります。要素を選択後[振分け確定]をクリックすると、指定したレイヤが振り分けられます。指定したレイヤと同じレイヤの要素は、[システムカラー]の[ハイライト]で表示されます。(P20 参照) 【解除モード】 : コマンド実行中に指定したレイヤに振り分けられた要素のみ表示します。解除する要素を選択して[解除設定]をクリックすると、振り分け前のレイヤに戻ります。(P19 参照)
④ [レイヤ]リスト	レイヤ設定のレイヤと、指定した CAD 製図基準テンプレートのレイヤを表示します。  : 製図基準テンプレートのレイヤ  : レイヤ設定のレイヤ 要素が振り分けられているレイヤはレイヤ名が緑色で表示されます。
⑤ [自動振分け]ボタン	各レイヤの[振分け設定]の条件で基準レイヤ()に自動で振り分けます。
⑥ [振分け設定]ボタン	指定したレイヤの検索対象とする要素の条件を[振分け設定]ダイアログで設定します。
⑦ [スポイト]ボタン	指定したレイヤの検索対象とする要素の条件を CAD 上の要素から設定します。条件を取得する要素をすべて選択して[OK]すると、[振分け設定]ダイアログが表示され選択した要素の属性が設定されます。(P4 参照)
⑧ [対象外表示]ボックス	指定したレイヤの振り分け対象外の要素の表示方法(「バック表示」「表示しない」)を設定します。
⑨ [振分け済要素表示]チェックボックス	基準レイヤ()が設定されている要素を表示するときはチェックをオンにします。オフのときは表示しません。
⑩ [全選択]ボタン	表示されている選択可能な要素をすべて選択します。
⑪ [全解除]ボタン	選択されているすべての要素の選択を解除します。
⑫ [線端点一括選択]チェックボックス	チェックをオンにしたときは、端点が繋がっている連続した線をすべて選択(選択されているときは解除)します。 オフのときは1要素ずつ選択(選択されている場合は解除)します
⑬ [振分け確定]ボタン 【振分けモード】 [解除確定]ボタン 【解除モード】	[振分け確定]ボタンは、選択された要素を指定したレイヤに振り分けます。 [解除確定]ボタンは、選択された要素のレイヤを振り分け前のレイヤに戻します。
⑭ [チェック]ボタン	[レイヤ振分け]コマンドを終了し、CAD 製図基準チェックを実行します。
⑮ [終了]ボタン	[レイヤ振分け]コマンドを終了します。

2 操作例(初回)

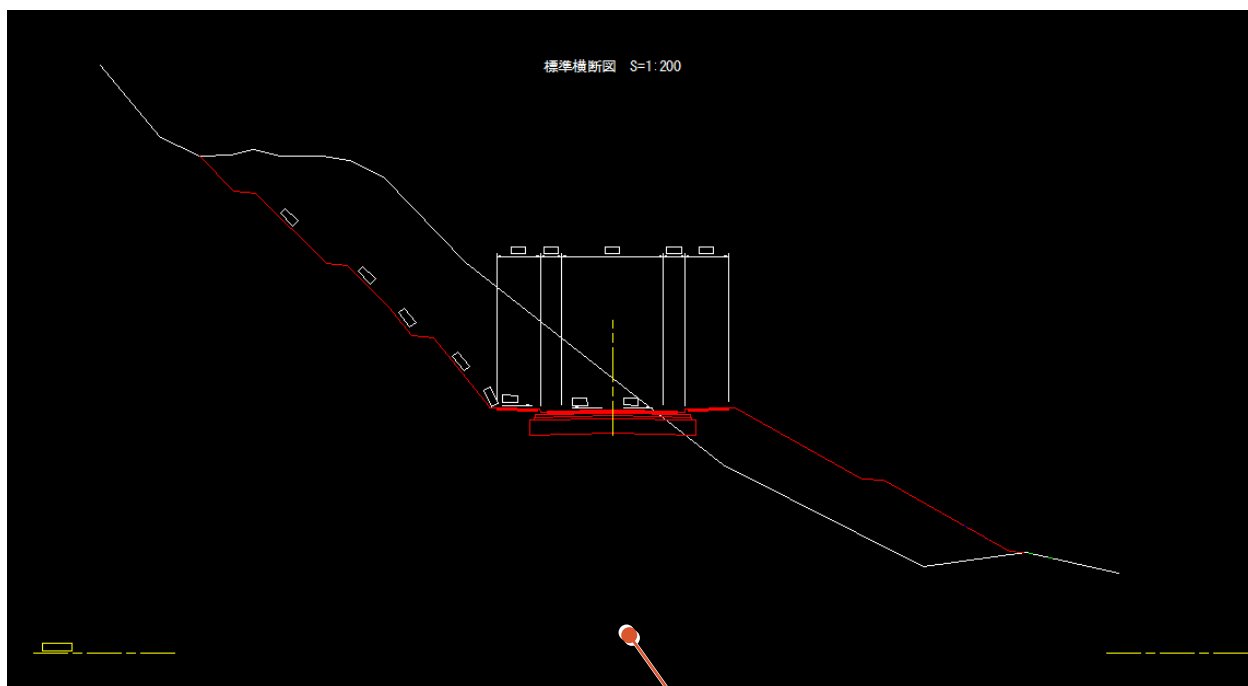
初回振り分け時は振り分け設定されていないため、自動振り分けをおこなっても期待の効果は得られないので、以下の操作手順をお勧めします。

- ・スポットでレイヤ振り分けを設定してから、レイヤを振り分ける
- ・2回目以降のために、レイヤ振り分け設定を保存する

ここでは、「¥FcApp¥各種資料(土木)¥武蔵¥入門編(サンプルデータ)¥5_建設CAD」フォルダーの中にある「標準横断面 1.MSS」のレイヤ(作業レイヤ1)を

- 「C主構造物外形線」
- 「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」
- 「C現況地物(現況地盤線)」
- 「C文字列(主構造物)」
- 「C寸法線、寸法値」

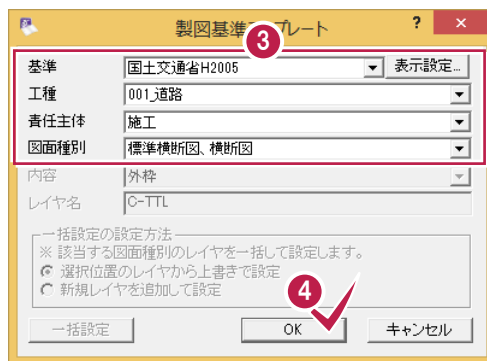
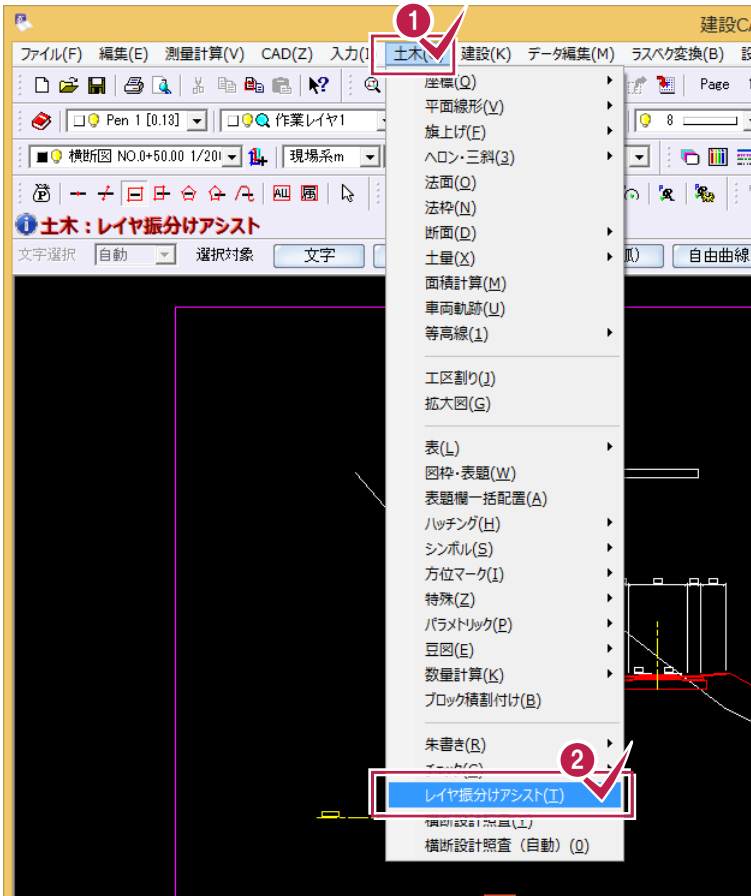
に振り分ける操作を解説します。



ここでは、「¥FcApp¥各種資料(土木)¥武蔵¥入門編(サンプルデータ)¥5_建設CAD」フォルダーの中にある「標準横断面 1.MSS」を開いた状態から解説します。

2-1 レイヤ振分けアシストを実行する

[土木]—[レイヤ振分けアシスト]コマンドを実行して、CAD製図基準テンプレートを設定します。



1 2

[土木]—[レイヤ振分けアシスト]をクリックします。

3 4

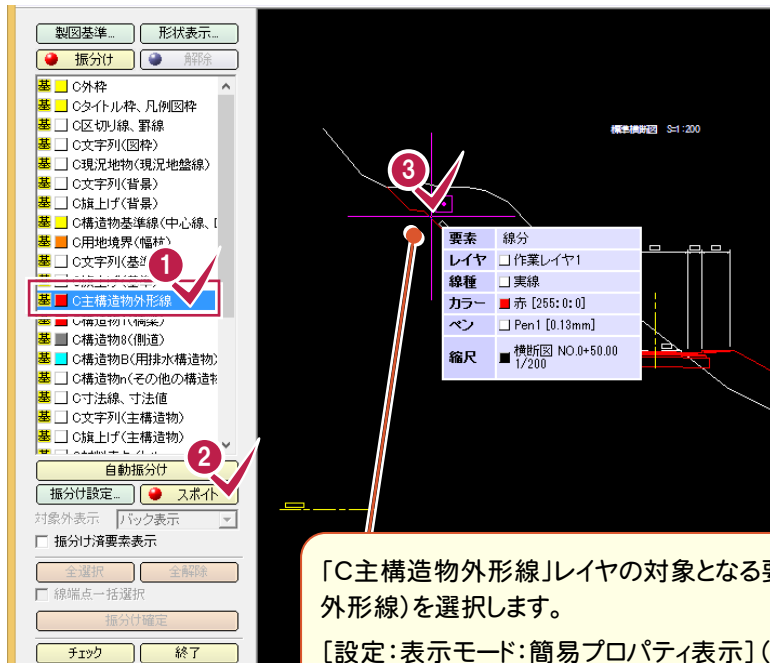
基準、工程、責任主体、図面種別を設定して、[OK]をクリックします。

2-2

「C主構造物外形線」の振分けを設定する

初回なので、まず振り分けるレイヤの振り分け設定をおこないます。

操作例では、主構造物外形線に「C主構造物外形線」を振り分けるので、スポイトで主構造物外形線を指定して「C主構造物外形線」のレイヤ振り分けを設定します。




1 2

「C主構造物外形線」をクリックして、
[スポイト]をクリックします。

3

「C主構造物外形線」レイヤの対象
となる要素を選択します。

「C主構造物外形線」レイヤの対象となる要素(主構造物外形線)を選択します。

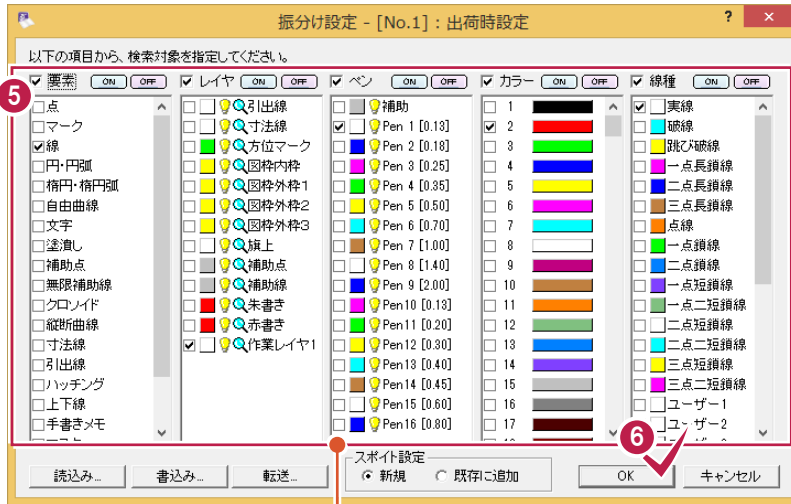
[設定:表示モード:簡易プロパティ表示] () がオンのときは、マウスポインタの位置にある要素の情報が表示されますので、確認してください



選択された要素は、システムカラーの
選択色で表示されます。

4

選択を終了したら、右クリックして
[OK]をクリックします。



5 「C主構造物外形線」レイヤの検索対象となる要素を設定します。

6 [OK]をクリックします。

[振分け設定]ダイアログが表示されます。

このダイアログで、「C主構造物外形線」のレイヤを振り分けるときの対象となる要素を設定します。検索対象とする属性([要素][レイヤ][ペン][カラー][線種])のチェックをオンにして、リストから属性の種類の種類をオンにします。

初期状態では、CADで選択した要素の情報が設定されています。

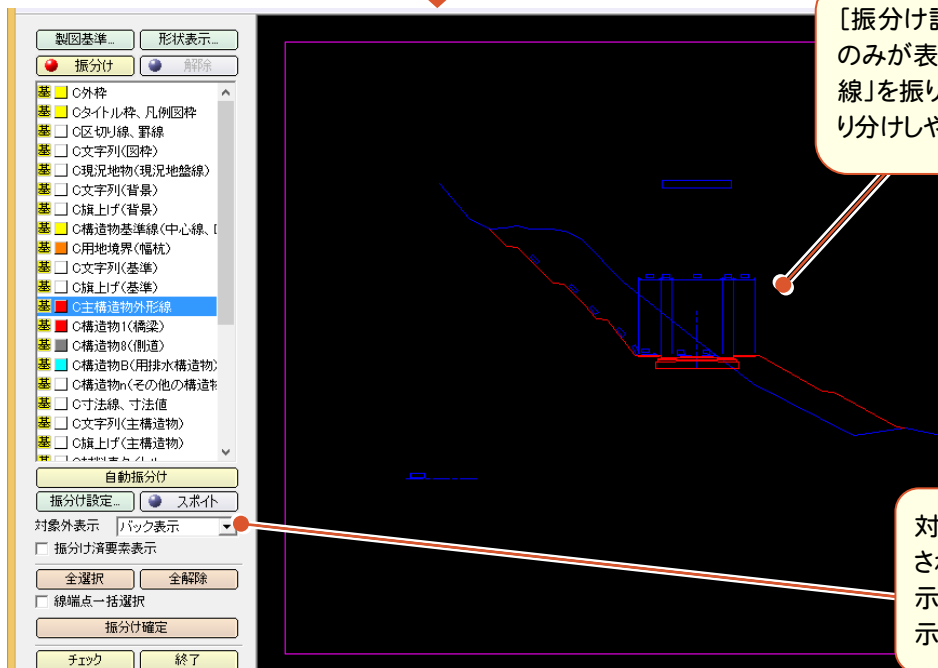
画面例の場合は、選択した要素が

- [要素]: 線
- [レイヤ]: 作業レイヤ1
- [ペン]: Pen 1
- [カラー]: 赤
- [線種]: 実線

なので、

- [要素][線]のチェックがオン
- [レイヤ][作業レイヤ1]のチェックがオン
- [ペン][Pen 1]のチェックがオン
- [カラー][2赤]のチェックがオン
- [線種][実線]のチェックがオン

になっています。



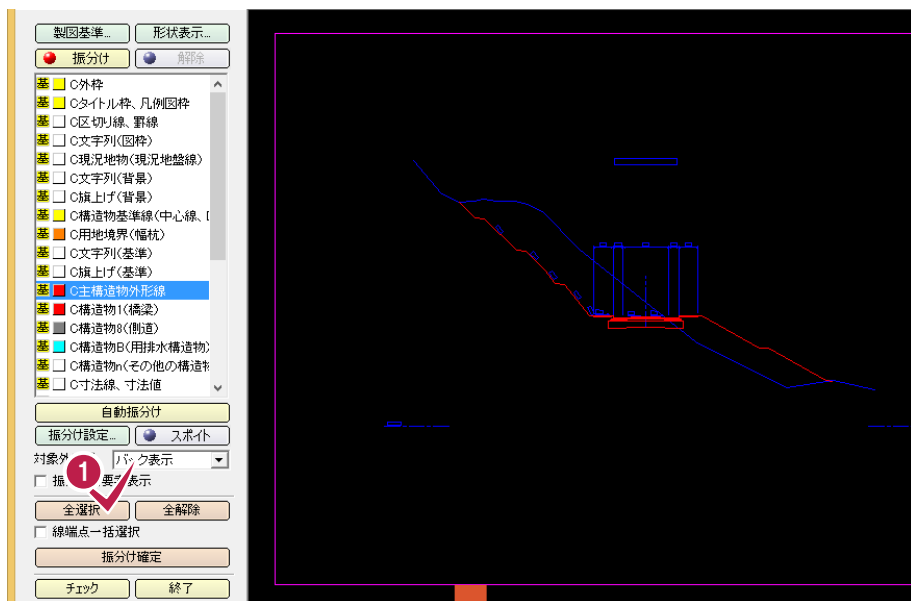
[振分け設定]ダイアログで設定した要素のみが表示されます。「C主構造物外形線」を振り分ける要素のみが表示され、振り分けしやすくなります。)

対象外の要素はバック表示されます。対象外の要素を表示しないときは、「対象外表示」を「表示しない」にします。

2-3

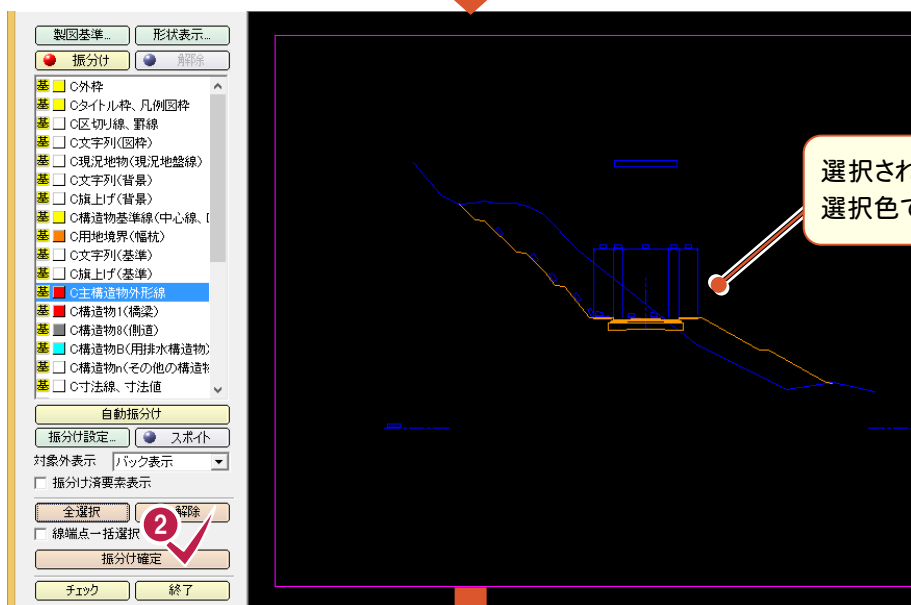
「C主構造物外形線」レイヤに振り分ける

対象となる要素のレイヤを「C主構造物外形線」に変更します。

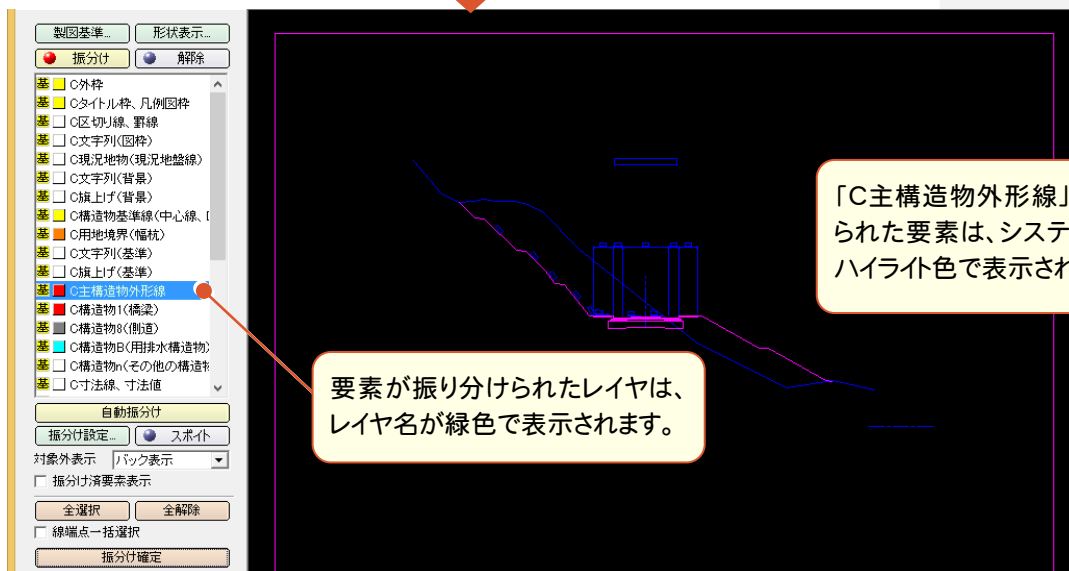


1 表示されている要素が「C主構造物外形線」のみであることを確認して、[全選択]をクリックします。

2 「C主構造物外形線」の要素が選択されていることを確認して、[振分け確定]をクリックします。



選択された要素は、システムカラーの選択色で表示されます。



要素が振り分けられたレイヤは、レイヤ名が緑色で表示されます。

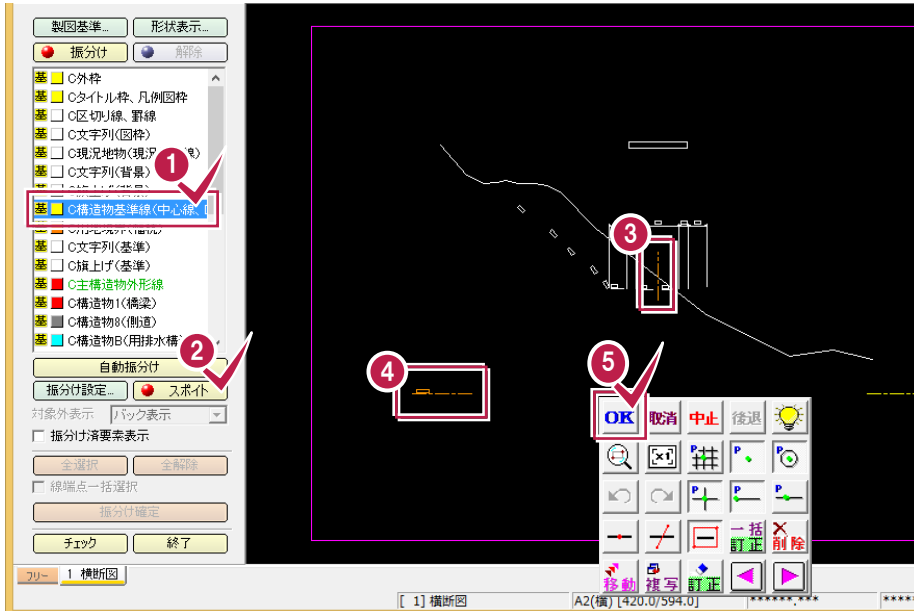
「C主構造物外形線」に振り分けられた要素は、システムカラーのハイライト色で表示されます。

2-4

「C構造物基準線」の振分けを設定する

初回なので、まず振り分けるレイヤの振り分け設定をおこないます。

操作例では、構造物基準線に「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」を振り分けるので、スポイトで構造物基準線を指定して、「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」のレイヤ振り分けを設定します。



- 1 「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」をクリックします。
- 2 [スポイト]をクリックします。
- 3
- 4 中心線、DL線、DL値を選択します。
- 5 選択を終了したら、右クリックして[OK]をクリックします。

[振分け設定]ダイアログが表示されます。

このダイアログで、「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」のレイヤを振り分けるときの対象となる要素を設定します。検索対象とする属性([要素][レイヤ][ペン][カラー][線種])のチェックをオンにして、リストから属性の種類の種類をチェックをオンにします。

初期状態では、CADで選択した要素の情報が設定されています。



- 6 「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」レイヤの検索対象となる要素を設定します。
- 7 [OK]をクリックします。

2-5 「C構造物基準線」レイヤに振り分ける

対象となる要素のレイヤを「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」に変更します。

振分け設定された要素が表示されます。

1 表示されている要素が「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」のみであることを確認して、[全選択]をクリックします。

2 「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」の要素が選択されていることを確認して、[振分け確定]をクリックします。

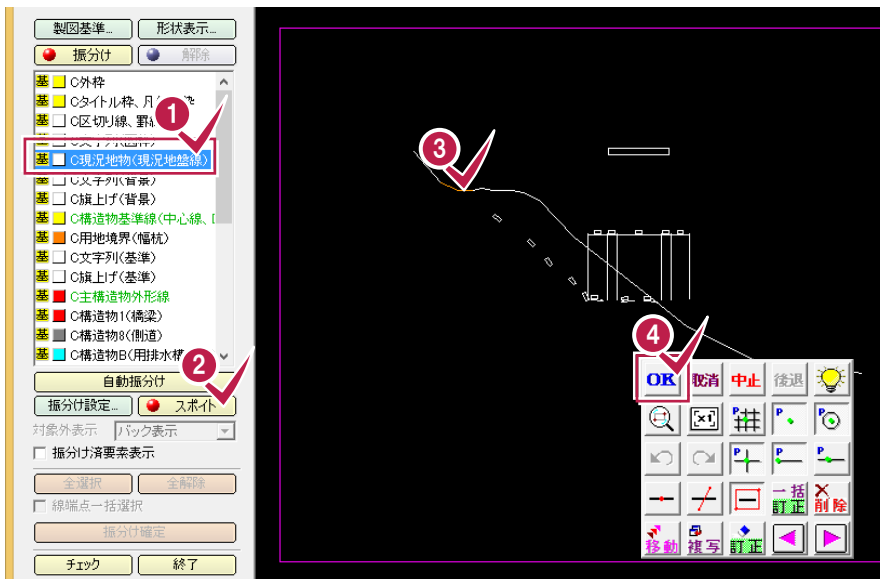
「C構造物基準線(中心線、DL、ML等)」に振り分けられた要素は、システムカラーのハイライト色で表示されます。

2-6

「C現況地物(現況地盤線)」の振分けを設定する

初回なので、まず振り分けるレイヤの振り分け設定をおこないます。

操作例では、現況地物(現況地盤線)に「C現況地物(現況地盤線)」を振り分けるので、スポイトで現況地物(現況地盤線)を指定して、「C現況地物(現況地盤線)」のレイヤ振り分けを設定します。

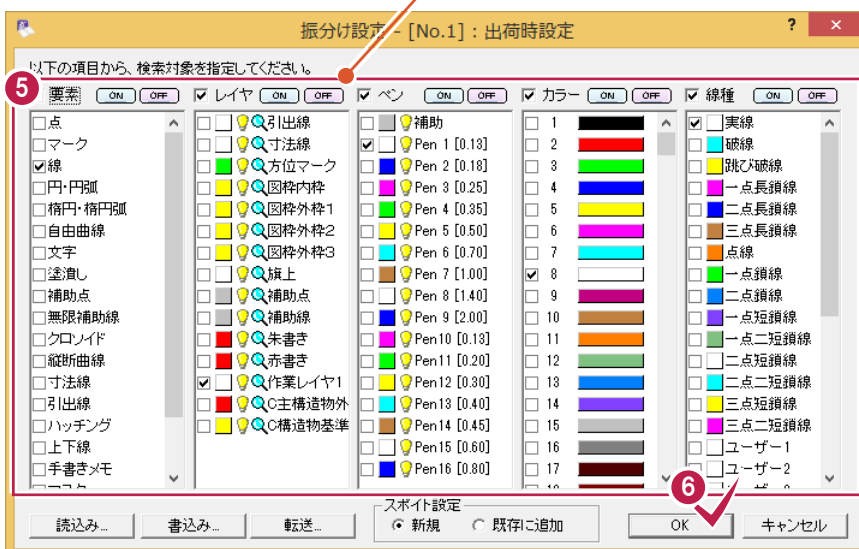


- 1 「C現況地物(現況地盤線)」をクリックします。
- 2 [スポイト]をクリックします。
- 3 現況線をクリックします。
- 4 右クリックして[OK]をクリックします。

[振分け設定]ダイアログが表示されます。

このダイアログで、「C現況地物(現況地盤線)」のレイヤを振り分けるときの対象となる要素を設定します。検索対象とする属性([要素][レイヤ][ペン][カラー][線種])のチェックをオンにして、リストから属性の種類をチェックをオンにします。

初期状態では、CADで選択した要素の情報が設定されています。



- 5 「C現況地物(現況地盤線)」レイヤの検索対象となる要素を設定します。
- 6 [OK]をクリックします。

2-7 「C現況地物(現況地盤線)」レイヤに振り分ける

対象となる要素のレイヤを「C現況地物(現況地盤線)」に変更します。

1 [線端点一括選択]のチェックをオンにします。

2 現況線をクリックします。

振分け設定された要素が表示されます。

3 「C現況地物(現況地盤線)」の要素が選択されていることを確認して、[振分け確定]をクリックします。

現況線のみが選択されます。

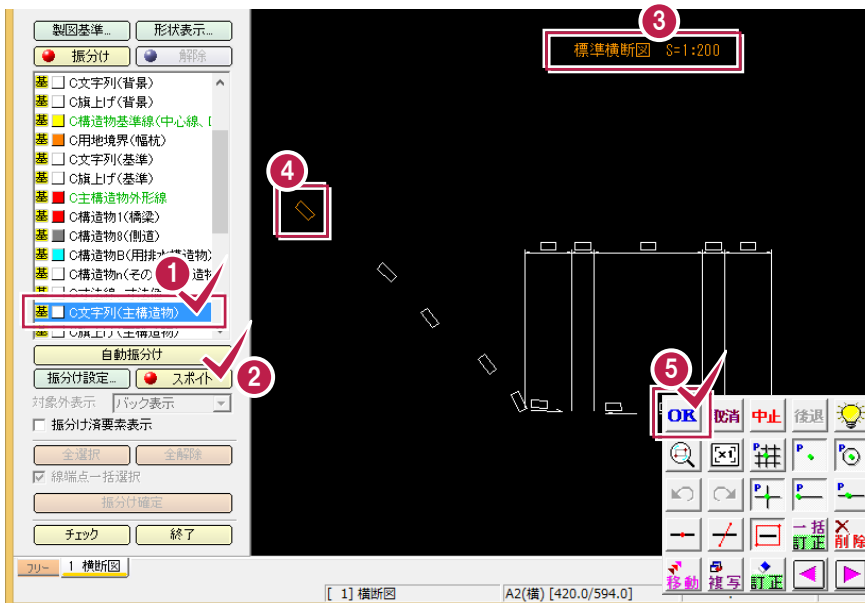
「C現況地物(現況地盤線)」に振り分けられた要素は、システムカラーのハイライト色で表示されます。

2-8

「C文字列(主構造物)」の振分けを設定する

初回なので、まず振り分けるレイヤの振り分け設定をおこないます。

操作例では、文字列(主構造物)に「C文字列(主構造物)」を振り分けるので、スポイトで文字列(主構造物)を指定して、「C文字列(主構造物)」のレイヤ振り分けを設定します。

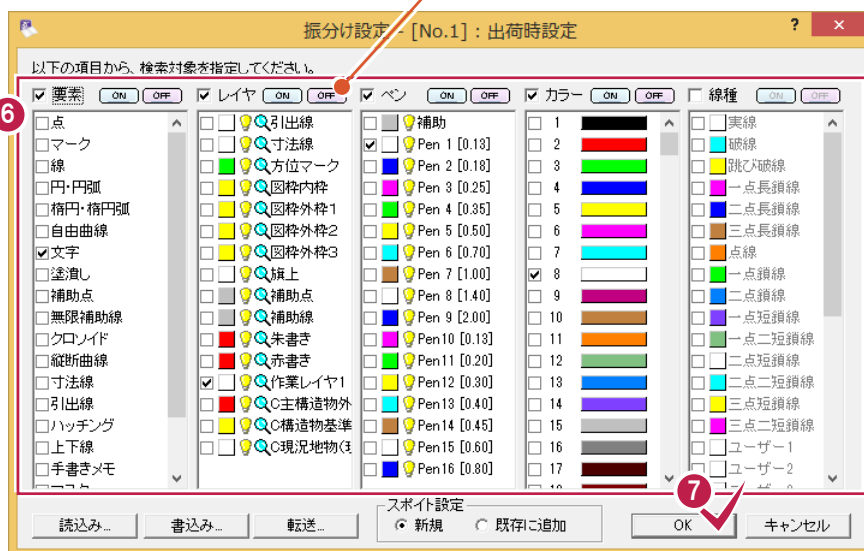


- 1 「C文字列(主構造物)」をクリックします。
- 2 [スポイト]をクリックします。
- 3 4 文字列(主構造物)を選択します。
- 5 選択を終了したら、右クリックして[OK]をクリックします。

[振分け設定]ダイアログが表示されます。

このダイアログで、「C文字列(主構造物)」のレイヤを振り分けるときの対象となる要素を設定します。検索対象とする属性([要素][レイヤ][ペン][カラー][線種])のチェックをオンにして、リストから属性の種類をチェックをオンにします。

初期状態では、CADで選択した要素の情報が設定されています。

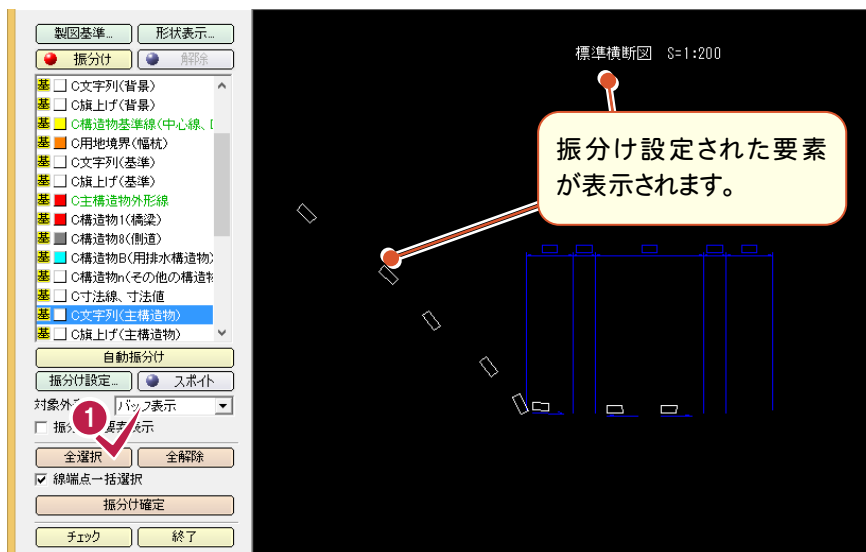


- 6 「C文字列(主構造物)」レイヤの検索対象となる要素を設定します。
- 7 [OK]をクリックします。

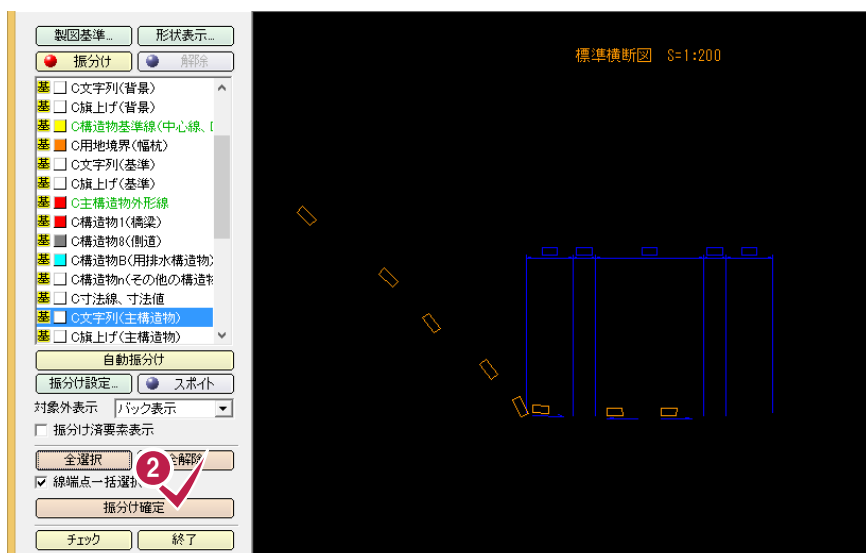
2-9

「C文字列(主構造物)」レイヤに振り分ける

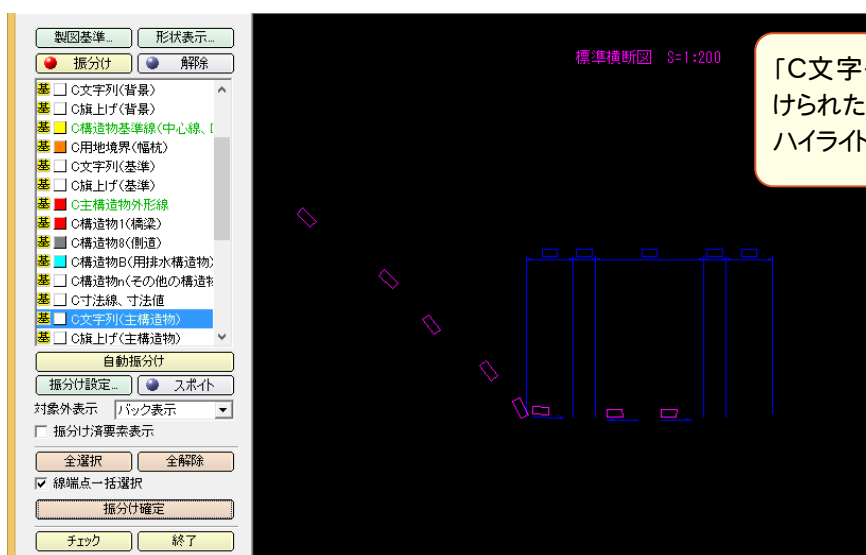
対象となる要素のレイヤを「C文字列(主構造物)」に変更します。



- 1 表示されている要素が「C文字列(主構造物)」のみであることを確認して、[全選択]をクリックします。



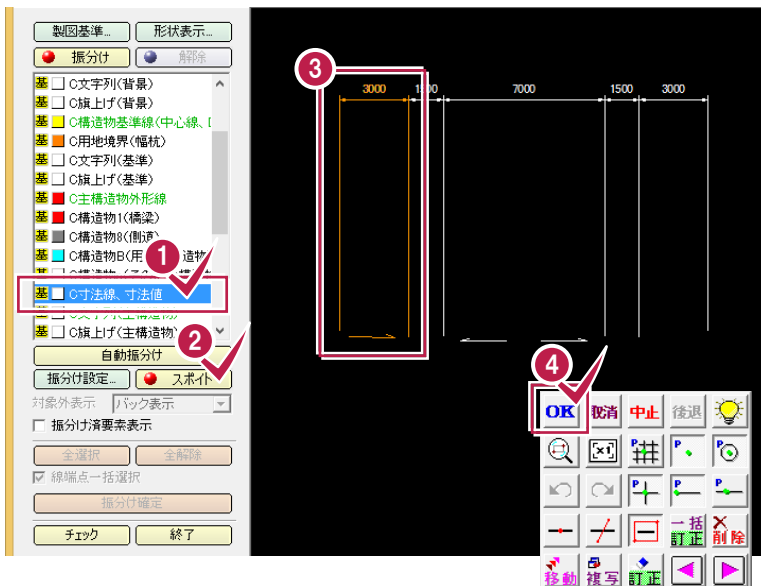
- 2 「C文字列(主構造物)」の要素が選択されていることを確認して、[振分け確定]をクリックします。



2-10 「C寸法線、寸法値」の振分けを設定する

初回なので、まず振り分けるレイヤの振り分け設定をおこないます。

操作例では、寸法線、寸法値に「C寸法線、寸法値」を振り分けるので、スポイトで寸法線、寸法値を指定して、「C寸法線、寸法値」のレイヤ振り分けを設定します。



- 1 「C寸法線、寸法値」をクリックします。
- 2 [スポイト]をクリックします。
- 3 寸法線、寸法値を選択します。
- 4 選択を終了したら、右クリックして[OK]をクリックします。

[振り分け設定]ダイアログが表示されます。

このダイアログで、「C寸法線、寸法値」のレイヤを振り分けるときの対象となる要素を設定します。検索対象とする属性([要素][レイヤ][ペン][カラー][線種])のチェックをオンにして、リストから属性の種類をチェックをオンにします。

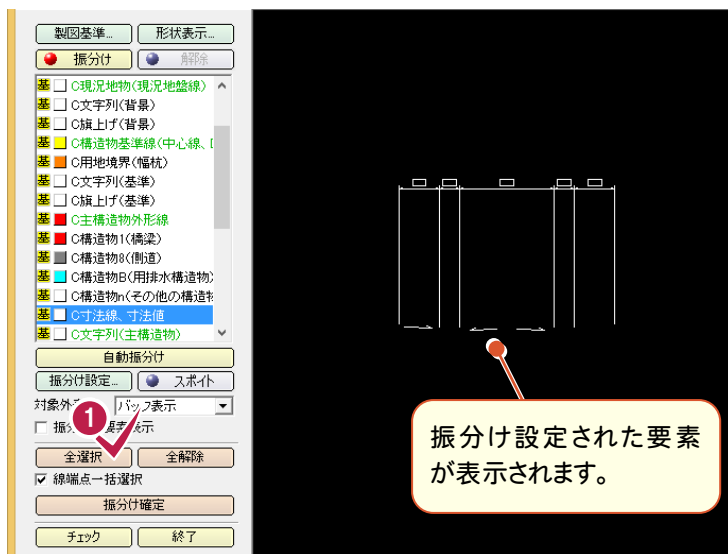
初期状態では、CADで選択した要素の情報が設定されています。

- 5 「C寸法線、寸法値」レイヤの検索対象となる要素を設定します。
- 6 [OK]をクリックします。

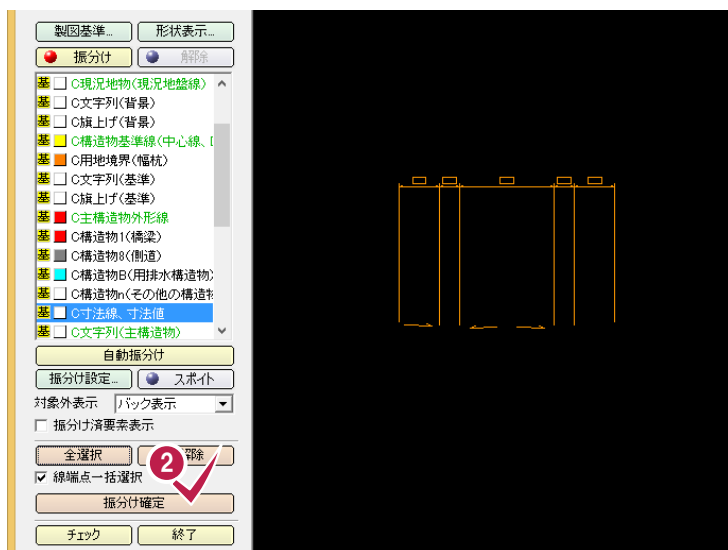


2-11 「C寸法線、寸法値」レイヤに振り分ける

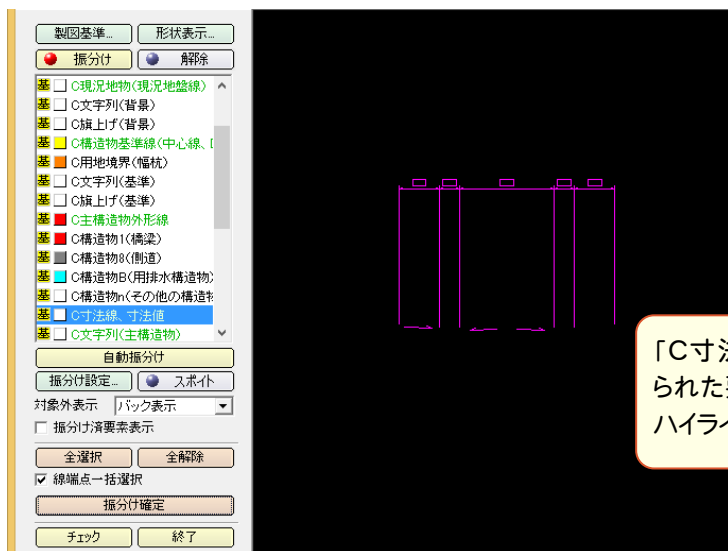
対象となる要素のレイヤを「C寸法線、寸法値」に変更します。



1 表示されている要素が「C寸法線、寸法値」のみであることを確認して、[全選択]をクリックします。



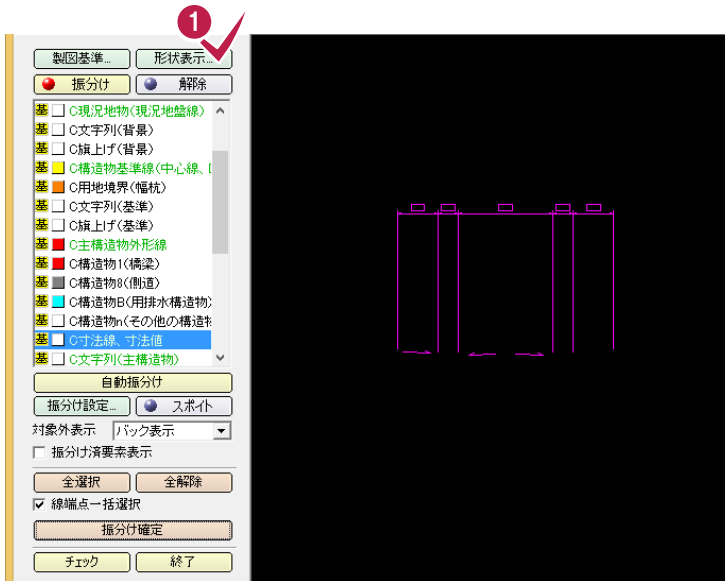
2 「C寸法線、寸法値」の要素が選択されていることを確認して、[振分け確定]をクリックします。



「C寸法線、寸法値」に振り分けられた要素は、システムカラーのハイライト色で表示されます。

2-12 振り分けられた状態を確認する

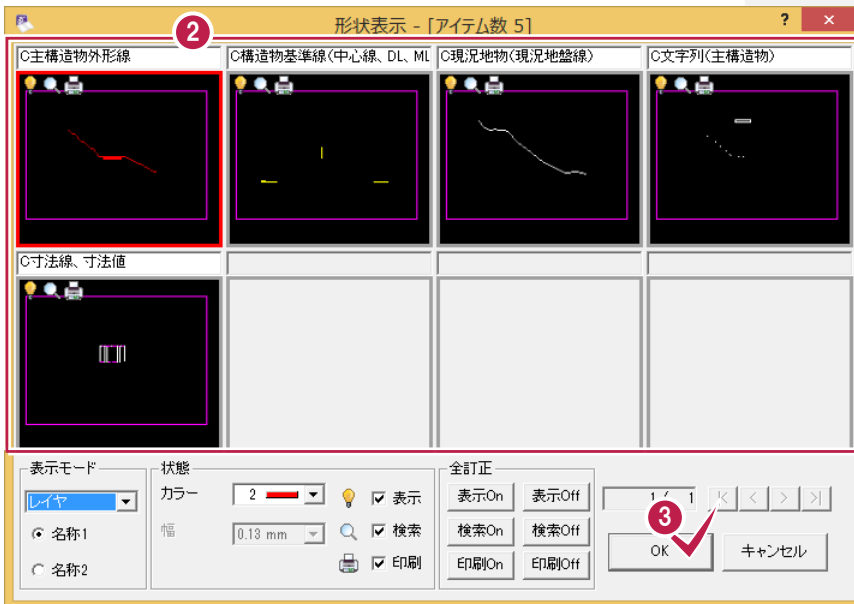
全レイヤを振り分けたら、振り分けられた状態を確認します。



1 [形状表示]をクリックします。

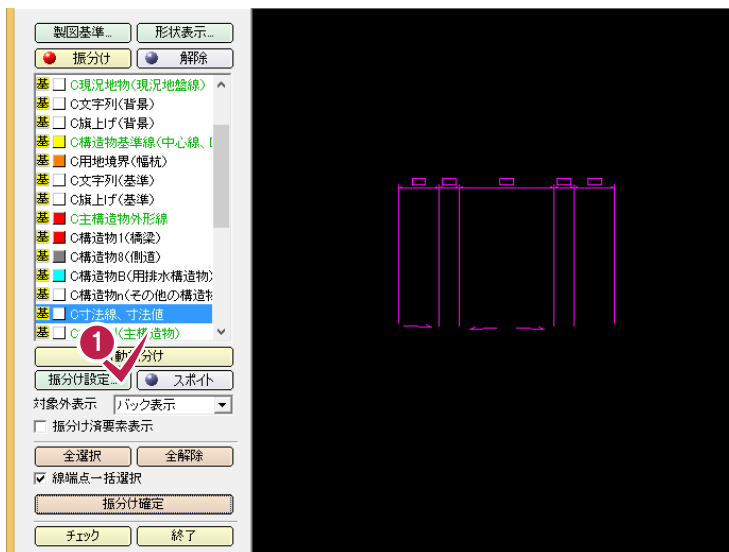
2 振り分けられたレイヤを確認します。

3 [OK]をクリックします。

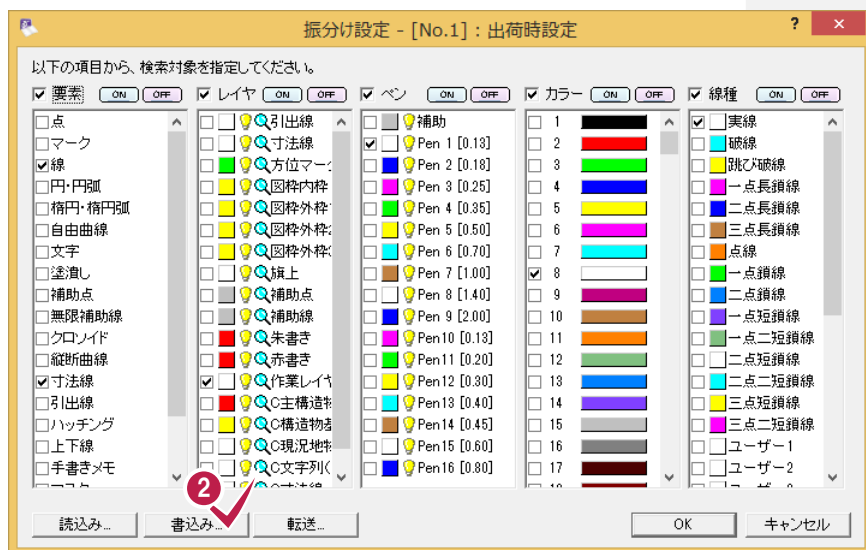


2-13 レイヤ振り分け設定を保存する

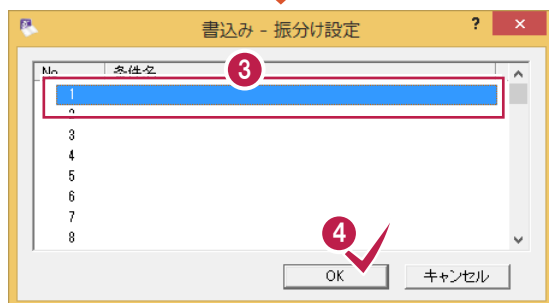
2回目以降で自動振り分けできるように、初回の振り分け設定を保存します。



1 [振り分け設定]をクリックします。



2 [書き込み]をクリックします。



3 書き込む場所を指定します。

4 [OK]をクリックします。



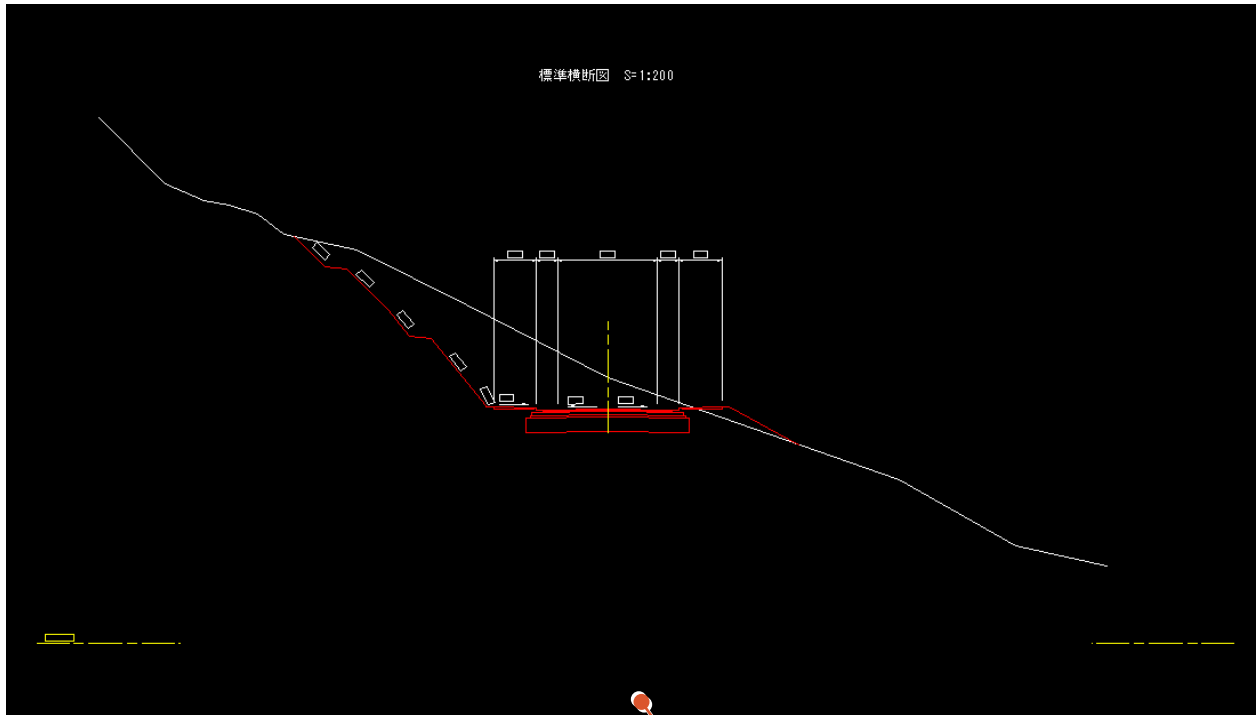
5 名称を入力します。

6 [OK]をクリックします。

3 操作例(2回目以降)

2回目以降は、初回の振り分け設定を読み込んで、自動振り分けをおこなう操作をお勧めします。

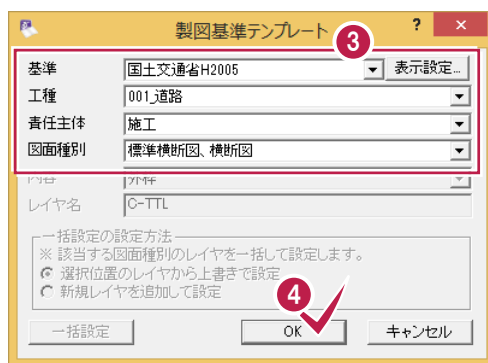
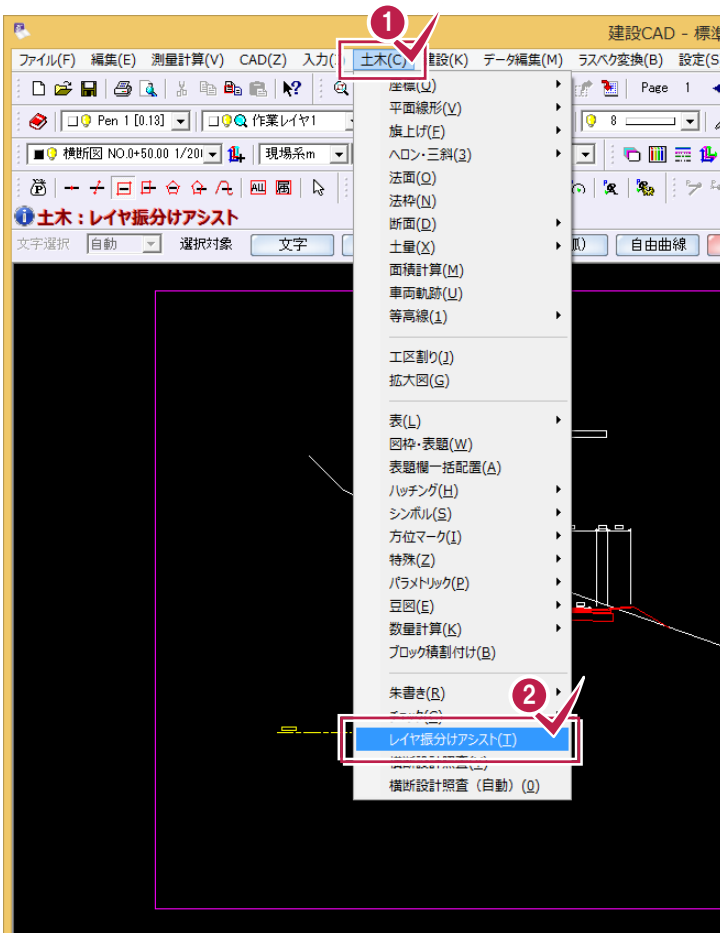
ここでは、「¥FcApp¥各種資料(土木)¥武蔵¥入門編(サンプルデータ)¥5_建設CAD」フォルダーの中にある「標準横断図2.MSS」のレイヤ(作業レイヤ1)を「2. 操作例(初回)」で保存した「サンプル振り分け設定」を読み込んで、自動で振り分ける操作を解説します。



ここでは、「¥FcApp¥各種資料(土木)¥武蔵¥入門編(サンプルデータ)¥5_建設CAD」フォルダーの中にある「標準横断図2.MSS」を開いた状態から解説します。

3-1 レイヤ振分けアシストを実行する

[土木]–[レイヤ振分けアシスト]コマンドを実行して、CAD製図基準テンプレートを設定します。



1 2

[土木]–[レイヤ振分けアシスト]をクリックします。

3

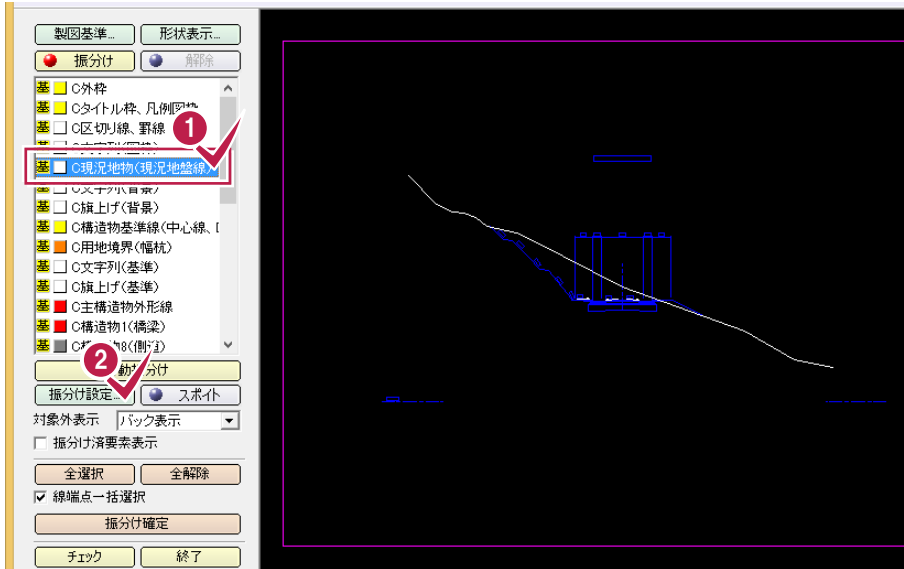
基準、工程、責任主体、図面種別を設定します。

4

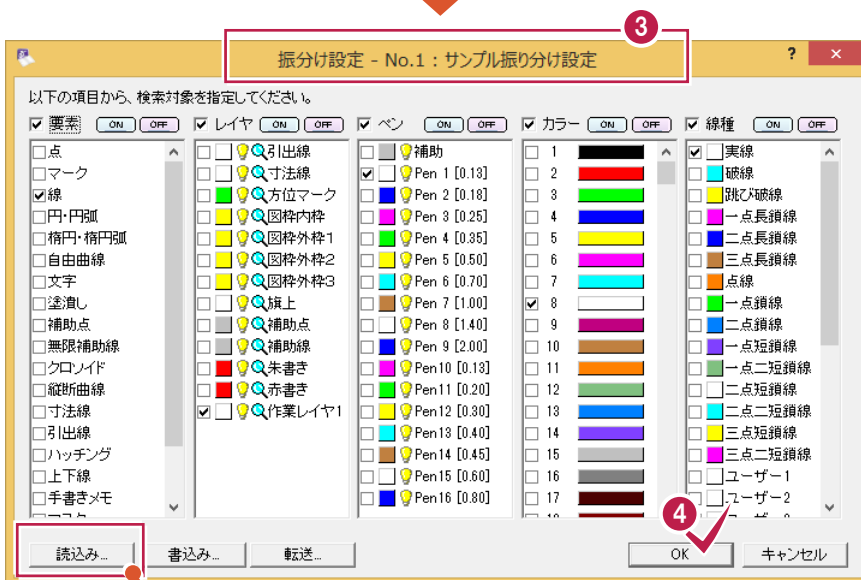
[OK]をクリックします。

3-2 振り分け設定を確認する

振り分け設定を確認します。

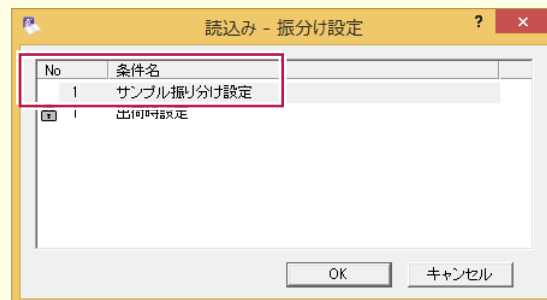


- 1 レイヤを指定します。
- 2 [振り分け設定]をクリックします。



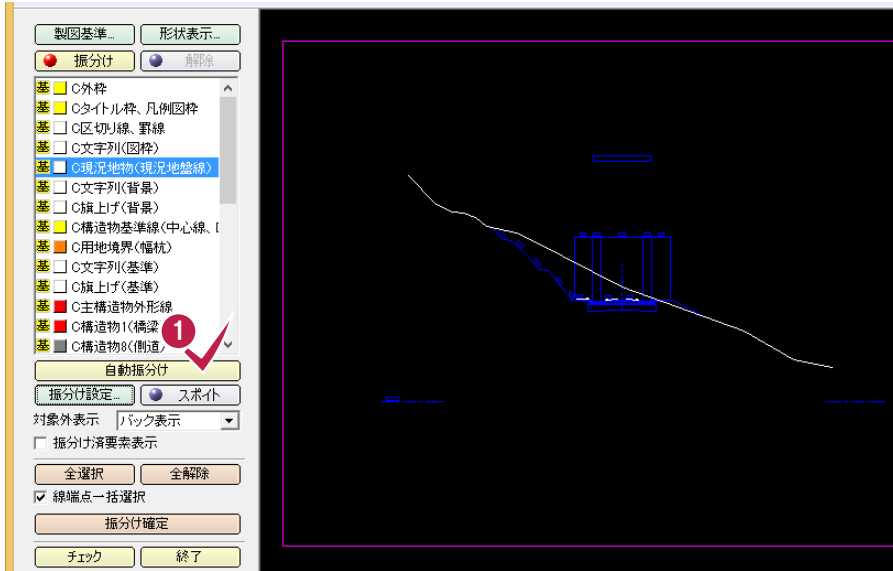
- 3 [サンプル振り分け設定]であることを確認します。
- 4 [OK]をクリックします。

振り分け設定が「出荷時設定」の場合は[読み込み]をクリックして、初回の操作で書き込んだ「サンプル振り分け設定」を読み込んでください。

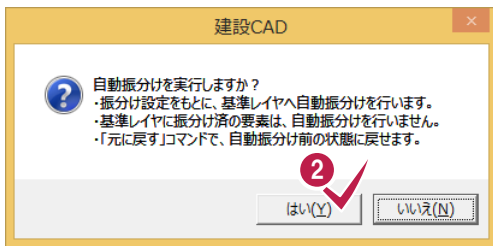


3-3 自動振り分けをおこなう

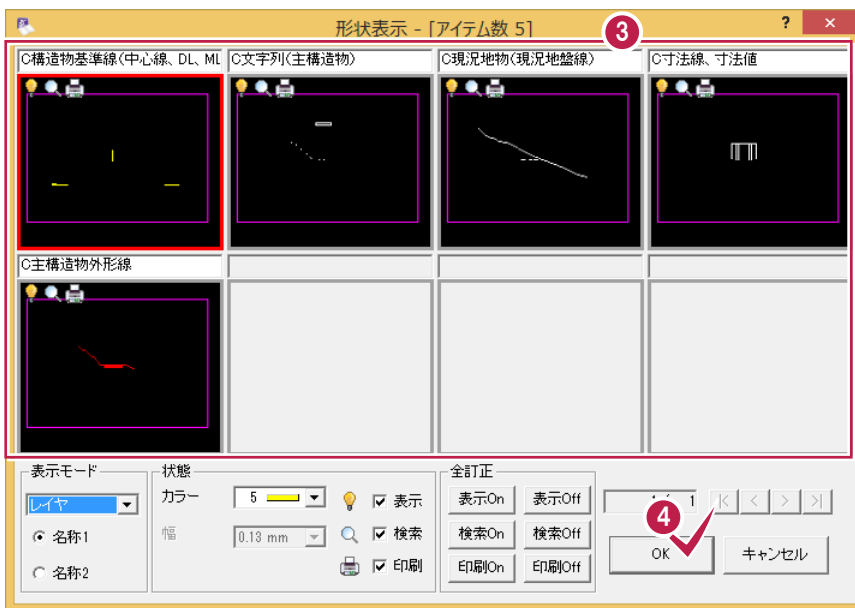
各レイヤの振り分け設定で自動振り分けをおこないます。



1 [自動振り分け]をクリックします。



2 [はい]をクリックします。



3 自動振り分けの状態を確認します。

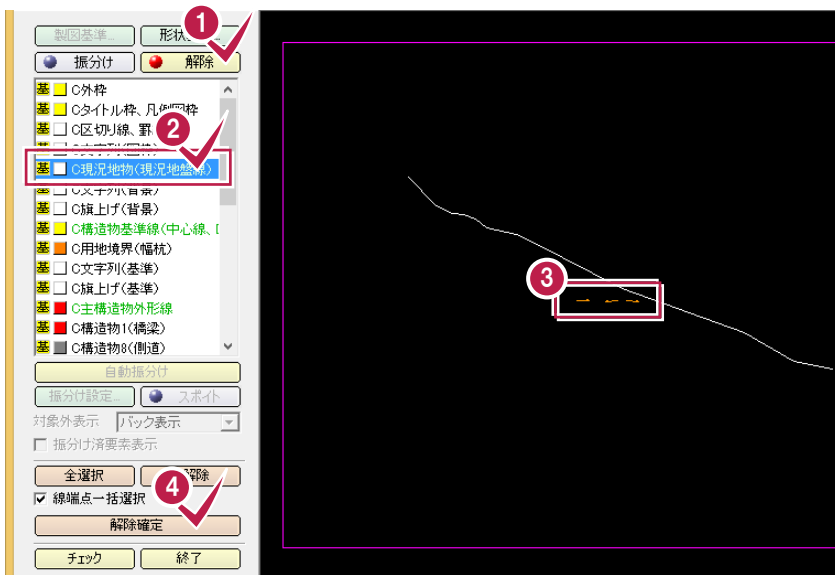
4 [OK]をクリックします。

3-4

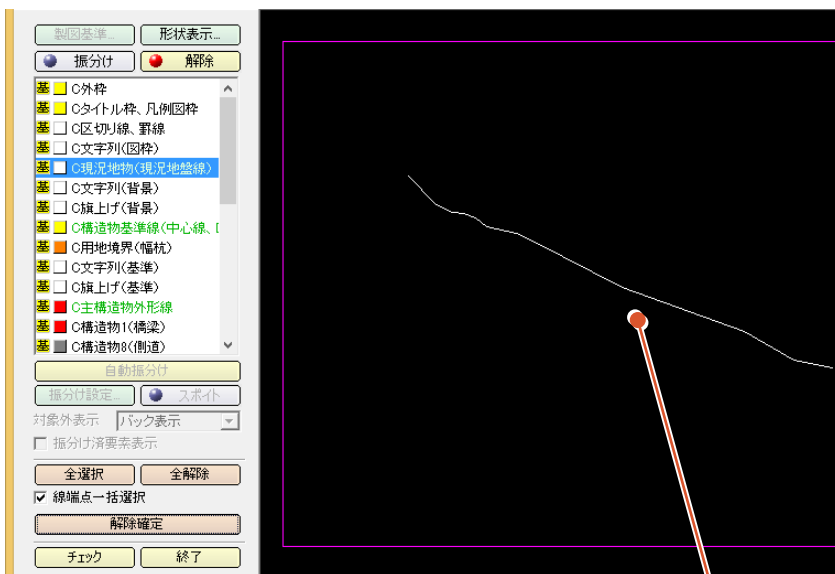
間違って振り分けられたレイヤを解除する

振り分けられたレイヤが間違っていた場合は、振り分けられたレイヤを解除します。

ここでは、「C現況地物(現況地盤線)」に振り分けられた要素に間違いがあったので、その要素のレイヤを解除します。



- 1 [解除]をクリックします。
- 2 ここでは、「C現況地物(現況地盤線)」をクリックします。
- 3 間違って振り分けられた要素を選択します。
- 4 間違って振り分けられた要素の選択を終了したら、[解除確定]をクリックします。



間違って設定されたレイヤが解除されます。

3-5 要素に正しいレイヤを振り分ける

レイヤを解除した要素に正しいレイヤを振り分けます。ここでは、「C寸法線、寸法値」を振り分けます。

